

■効果の見える治水事業

徳島県 つゆ谷 通常砂防事業

徳島県西部総合県民局
もとき ゆきお
県土整備部長 元木 幸男



○事業概要

吉野川水系つゆ谷は、三好市井川町の大佐古地区に位置する土石流危険渓流Ⅰです。当流域内には、災害時要援護者施設である、養護老人ホーム、特別養護老人ホーム、デイサービスセンター、在宅介護支援センター、さらに緊急輸送路である国道192号、JR徳島線があります。近年、上流部の荒廃が著しく、出水時には、渓床堆積物の流下や突発的な山腹崩壊による土石流等により、流域内のこれらの重要施設や人家に甚大な被害を及ぼす恐れがありました。

このため、平成21年度より通常砂防事業による整備に着手し、これまでに、下流堰堤を完成させ、現在、上流堰堤において本堤工のコンクリート打設の進捗を図っているところです。

平成21年7月に発生した、山口県防府市の老人福祉施設が被災した土砂災害を受け、本県では災害時要援護者関連施設に係る土砂災害対策を推進することとしており、砂防堰堤等の施設整備を実施するとともに、土砂災害警戒区域等の指定による危険箇所の明示及び警戒避難体制の整備を促進するなど、ハード・ソフト一体となって重点的な土砂災害対策に取り組んでまいります。

○事業内容

砂防堰堤2基

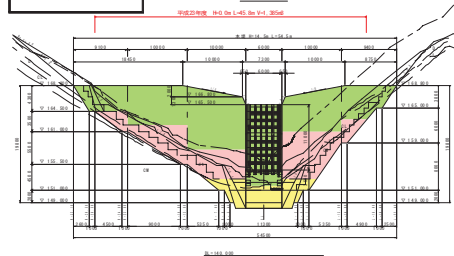
上流部（透過型 H=14.5m L=54.5m） 下流部（H=5.0m L=18.4m）

○事業期間

平成21年度～平成25年度（予定）



本堤工



平成23年9月現在 下流堰堤工完成

安全・安心な福祉のまちづくり

徳島県三好市長 俵 徹太郎



三好市は、平成18年3月、三野町、池田町、山城町、井川町、西祖谷山村、東祖谷山村が合併し、721.48平方キロメートルという四国一広大な面積を有する自治体として誕生しました。四国のほぼ中央に位置し、古くからこの地域は交通の要衝として、また、県西部での社会、経済、文化、観光の中心として発展してきました。

本市には、大歩危峡や黒沢湿原、紅葉の名所・竜ヶ岳、四国第二の高峰・剣山、スキー場のある腕山といった豊かな自然や、四国霊場第6番札所・雲辺寺、平家落人伝説の残る祖谷のかずら橋など歴史的文化遺産があります。

人口は、約3.1万人で、18歳以下が約13%、65歳以上が約37%と少子高齢化が進んでおり、山間部においては、限界集落も増えつつあります。

つゆ谷のある井川町大佐古地区は、吉野川の清流・美濃田の淵と阿讃の山々を展望する閑静な高台にあり、特別養護老人ホームみのだ苑、デイサービスセンター、養護老人ホーム敬寿荘、等の施設があり、高齢者の「ふくしの里」となっています。

しかし、平成16年10月の台風23号の豪雨により、当施設上流のつゆ谷から大量の土砂が流出し、国道192号が一時通行止めとなるなどの被害が発生したことから、施設の入所者や周辺住民が、自主避難を余儀なくされました。緊急避難により人的被害は免れましたが、その後も、台風シーズンを迎えると、大雨のたびに不安な日々を送ってまいりました。

その後、徳島県により平成21年度から通常砂防事業による整備に着手していただきました。現在、つゆ谷の砂防事業は着実に進捗しており、周辺住民も一日も早い完成を願っております。



井川スキー場 腕山



ふくしの里

被災状況（平成16年台風23号）



徳島市

第1次緊急輸送路
国道192号

事業の実施にあたりご尽力いただきました各関係機関の方々にお礼を申し上げますとともに三好市井川町地域の福祉の拠点である当地区の安全・安心の向上のため、今後ともご支援、ご協力をよろしくお願いいたします。